

# 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：水資源対策費

## 事業名 地下水位観測所更新費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 水資源課 水資源係 電話番号：058-272-1111(内4852)

E-mail：c11668@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,196 千円 (前年度予算額： 3,750 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,750	0	0	0	0	0	0	0	3,750
要求額	3,196	0	0	0	0	0	0	0	3,196
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

濃尾平野における地盤沈下の状況把握と防止を図るため、国と三県一市で「東海三県地盤沈下調査会」を組織し、地下水位や地盤沈下の観測を行っている。

県内では濃尾平野地盤沈下防止等対策要綱(昭和60年地盤沈下防止等対策関係閣僚会議決定)の観測地域である岐阜・西濃地域にて、地下水位と地盤沈下量を観測している。

長期的に継続して観測していくために、観測所・観測機器は、「地下水位観測所 局舎修理・機器更新計画」に基づき、観測所の再塗装(約25年ごと)や故障箇所の修繕(随時)、観測機器の更新(最大10年ごと)を実施する必要がある。

### (2) 事業内容

更新計画に基づき、4か所の機器更新を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	3,196	地下水位観測機器更新（4か所：正木・穂積・海津・西部中観測所）
合計	3,196	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ（R5～R9）

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

(3) 地域にあふれる魅力と活力づくり（1）地域の魅力の創造・伝承・発信）

(2) 国・他県の状況

濃尾平野の地盤沈下は東海地方全体の問題であり、濃尾平野地盤沈下防止等対策要綱（昭和60年 閣議決定）に基づき、国と三県一市（岐阜・愛知・三重・名古屋市）で観測を実施している。

(3) 後年度の財政負担

26か所の水位観測機器及び2か所の地盤収縮量観測機器の更新（更新計画に基づき概ね10年ごとに実施）、観測所の再塗装（約25年に1回）、観測施設の修繕（更新計画以外の緊急修繕）

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜・西濃地域における地下水位や地盤収縮量の観測を長期的に継続して実施していくため、観測機器の更新、観測所修繕を実施する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 H28	R6年度 まで実績	R7年度 まで目標	R8年度 目標	終期目標	
						達成率

### ○指標を設定することができない場合の理由

更新計画に基づき必要な機器更新と観測所修繕を行うものであり、目標の指標設定はできない

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	観測機器更新（2か所） 地下水位観測機器を更新した事により、機器の故障等による欠測を予防し、地下水位と地盤収縮量の観測を継続して行うことができた。
令和5年度	観測機器更新（3か所） 観測所修繕（1か所） 地下水位観測機器を更新した事により、機器の故障等による欠測を予防し、地下水位と地盤収縮量の観測を継続して行うことができた。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	観測機器更新（3か所） 地下水位観測機器を更新した事により、機器の故障等による欠測を予防し、地下水位と地盤収縮量の観測を継続して行うことができた。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	濃尾平野地盤沈下防止等対策要綱に基づき、長期的に継続して観測していくために、観測所・観測機器の定期的な更新・修繕を行う。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	更新計画に基づき適切に更新・修繕を行うことで異常なく観測を継続することができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	観測機器更新計画を策定し、予算の平準化を図っている。 観測時に機器や観測局舎を定期的に点検することで、異常を早期に発見する体制を執っている。

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 更新計画に基づいて観測機器の更新・観測所修繕を行っているが、観測・点検時に機器の故障や観測所の破損等が確認された場合、突発的に修繕費用が必要となる。
---

### (次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引続き、更新計画に基づいて観測機器の更新と観測所修繕を実施し、長期的な観測体制を維持する。
---